

きみつ地域づくり協議会

周西地区設立準備会 第6回

2024年10月23日(水)

1. 開会・あいさつ
2. 全員自己紹介（お名前＋今回の“お題”）
3. 前回の振り返り
4. 今回の内容：地域を知ろう
5. まとめ
6. 感想メモ
7. 次回の日程



自分たちサイズの 地域づくり

ゲスト講師 おきな まさひと さん
(まちびと会社ビジョナリアル共同代表)



- まちには「つくる人」と「つかう人」がいる。
- まちづくりには、みんなひとりひとり各自の役割がある
- 地頭自治
 - ・ 住民も、団体も、企業も行政も、「自分たちのまちを自分たちでつくる」という思考や行動
 - ・ これらが循環しているエリアがうまく動いている。
- 「なぜ」の共有・「なぜ」でつながる
 - ・ 「なに」をするか・したいかではなく、「なぜ」でつながり、知恵をつくっていくことが重要

- 「わたし」 → 「わたしたち」 に
 - ・ パーソナルとパブリックの視点
- まき込む、まき込まれる、まきとる
 - ・ 地域づくりは、まき込むのではなくて、地域にまき込まれてから始まる。
 - ・ そして、その裏ではまきとってくれている人がいる。
 - ・ さらにこの3つが混ざり合って、地域づくりが進んでいる。
- だれかにやらせるのではなく、自分たちサイズで
 - ・ まずは小さくやってみる
- 「0.5」を刻む
 - ・ 集まりと集まりの間に、自主的な動きをしていく

- 運営チームの発足へ
- LINEオープンチャット開設

みなさんのコメントから…

- まちづくりの話はとても楽しかった。自分や友人など周りの人達のやりたいことととりあえずやってみようと思った。
- 和気あいあいとしている感じが楽しかった。いろいろな方がそれぞれに活動されていて、へえーと思うことが多かった。
- 魔法のような話で、そんなのができるのかなって感じた。特別なリーダーがいるわけでもない、一人の「あったらいいよね」からみんなでやる。本当にできるだろうか。

- インスタで広める、集うという良いアイデアが聞いた。おきなさんの話の中で学ぶことができた。
- 「まき込まれながら、まき込むこと」を時々おきな氏にチェックしてみてもらっては。
- まき込むまき込まれるの循環を活気づけたいと思った。
- まちをつくる人、つかう人：つかう人の意見聴取からヒントを得たいと改めた。
- とても参考になったし、また機会があれば一緒に参加していただいてアドバイスをもらえたら話がどんどん前進するような気がした。とてもありがたかった。
- あったらしいなを心に秘めている人や声の大きい人はたくさん見てきたので、その人たちをうまくバランスをとりながらつながるプラットフォームとして、この協議会が機能していけば嬉しいなと思った。
- 実際に活動している方のお話を聞けて、自分たちがこれからしていくことのイメージがすごく見えたし、やりたいと思った。つくりたいと思う周西地域が本当に実現できそうな気がした。知らない誰かが巻き込まれたいと思うような活動をして、周西の輪が大きくなったらしいなと思った。